

令和4年9月1日

県内ハンドボールチーム代表 各位

岩手県ハンドボール協会審判部

2022年度新競技規則の運用・施行について（県内通達）

国際ハンドボール連盟（IHF）競技規則審判委員会より新競技規則が発表されたことを受けて、岩手県としては各カテゴリー毎に下記の内容及び大会で新競技規則の運用を開始いたします。（新競技規則につきましては岩手県ハンドボール協会公式HPをご覧ください。）

新競技の運用が決定している上位大会に続く県内予選大会では施行を開始するという考え方を基本的な考え方としております。

1. 全カテゴリー共通

- (1)ボールがゴールキーパーの頭部へ直撃した際の罰則の適用
 - ・全国および県内において、7月1日より施行する。
- (2)ボールサイズ（外周）について、松やにの使用の有無で分類
 - ・全国および県内において、7月1日より施行する。（小中学生カテゴリー）

2. 小学生カテゴリー

- (1)スローオフエリアに関して
 - ・Jクイック方式のため使用しない。
- (2)パッシブプレーの予告合図後のパスの最大回数について
 - ・今年度の全国小学生大会（8月4日～7日：京田辺市）より4回で実施する。
 - ・県内においては、大会主催者の判断に任せるものとする。

3. 中学生カテゴリー

- (1)スローオフエリアおよびパッシブプレーの予告合図後のパスの最大回数について
 - ・第51回全国中学校大会（8月19日～21日：函館市）終了後より施行する。
 - ・第18回春の全国中学生選手権（3月26日～29日：氷見市）より施行する。
 - ・県内においては、紫波郡中学校新人大会（9月14日）、盛岡市中学校新人大会（9月17日～18日）、花巻市中学校新人大会（9月18日）から施行する。

4. 高校カテゴリー

- (1)スローオフエリアおよびパッシブプレーの予告合図後のパスの最大回数について
 - ・第73回全国高校総体（7月30日～8月4日：松山市・伊予市）終了後より施行する。
 - ・第46回全国高等学校選抜大会（3月23日～29日：三重県・岐阜県）より施行する。
 - ・県内においては、第15回秋季大会（9月17日～19日）より施行する。

5. 学連・学生カテゴリー

(1)スローオフエリアおよびパッシブプレーの予告合図後のパスの最大回数について

- ・東日本インカレおよび西日本インカレより施行する。
- ・県内においては、**社会人連盟に準じて施行する。**

6. 社会人連盟・社会人カテゴリー

(1)スローオフエリアおよびパッシブプレーの予告合図後のパスの最大回数について

- ・7月開幕の日本リーグに準じて施行する。
- ・県内においては、**第74回日本選手権東北ステージ県予選会兼第65回県総合選手権から施行する。**また、**社会人リーグにおいては、今年度は施行しない。**

7. その他

(1)日本選手権東北ステージ県予選会兼第65回県総合選手権のように異なるカテゴリー間で大会が開催される場合、運営側より運用についての周知を徹底する。上位大会の予選となる大会では、上位大会での運用に準ずるものとする。

(2)具体的な運用・施行については、各大会の審判長・競技委員長からの指導のもとに行うものとする。

【担当・お問い合わせ】

岩手県ハンドボール協会 審判長 小川至門

Tel : 090-7334-3735

Email : ogawa-07120315@gmail.com